

#### 第4回新生児生命倫理研究会のご案内

昨年3月に開催しました第3回新生児生命倫理研究会には約120名の方々にお集りいただき、ありがとうございました。本研究会は設立趣意にあるように、医学系と人文・社会学系の融合による学際的研究と、学問としての「新生児生命倫理学」の確立を目指しています。今後さらに「新生児」の「生命倫理」のために積極的に活動を展開したいと考えています。

さて、昨年より第4回の研究会の開催を目指して準備して参りましたが、予定通り3月14日に東大内で、第4回新生児生命倫理研究会を開催いたします。前回と同様、午前午後の終日の開催といたします。

内容につきましては、特別講演として京都府立医科大学医学生命倫理学教授の瀬戸山晃一先生に「医療におけるパターンリズム」のタイトルでご講演いただきます。医療者のパターンリズムが批判されて久しいですが、近年見直しの動きが顕著です。今回、日本におけるパターンリズム研究の第一人者として瀬戸山先生にご解説いただきます。

また、その他に2つの講演を予定しています。第一部として「出生前遺伝学的検査とゲノム編集のガバナンス」のタイトルで、社会的に大きな倫理的テーマとなっているこれらの内容について、諮問委員など重責を担われ、最近多くのシンポジウムなどでも活躍されている東大医科学研究所教授の武藤香織先生にご講演いただきます。二つ目の講演としては「子どものいのちをめぐる対話～代理意思決定について考える」のタイトルで、小児神経科医で現在九州大学で倫理コンサルテーションチームを牽引されている笹月桃子先生に、子どもの代理意思決定の考え方と実践について、経験を踏まえ解説していただきます。

また過去3回、好評をいただきました症例検討も、前回と同様に2時間を確保いたしました。4症例について倫理の専門家を交えての活発な議論をお願いしたいと思います。

今回は、二つの講演について、専門医制度の共通講習と小児科領域講習の受講1単位ずつを付与されるように準備中です。

過去3回は参加費を無料として行って来ましたが、今回は1,000円とさせていただきます。遠方からの参加の方には旅費の負担もありますが、学問としての新生児生命倫理を考えるまたとない機会です。ぜひ足をお運びいただけたらと思います。

基本的に事前のご登録をお願いしています。登録はメールをお送りいただくだけでですので、以下の案内をご覧になり手続きをお願いいたします。積極的なご参加を希望しています。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

記

第4回東京新生児生命倫理研究会プログラム

第一部 講演 10:00～10:50

出生前遺伝学的検査とヒトゲノム編集のガバナンス

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 教授 武藤香織

第二部 特別講演 10:50～12:10

医療におけるパターンリズム

京都府立医科大学 医学生命倫理学 教授 瀬戸山晃一

休憩：12:10～13:40

第三部 講演 13:40～14:40

子どものいのちをめぐる対話～代理意思決定について考える～

西南女学院大学 保健福祉学部 准教授 笹月桃子

(休憩)

第四部 症例検討 15:00～17:00

座長 東京大学 小児・新生児集中治療部 教授 高橋尚人

倫理的意思決定に苦慮した4症例

日時：2020年3月14日（土曜日）10:00～17:00（9:30受付開始）

場所：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

参加対象者：医療関係者

参加費：1,000円

参加登録：事前登録をお願いしています。

登録方法：[nicu-office@umin.org](mailto:nicu-office@umin.org)に参加希望のメールをお送りください。特に書式は  
ございません。お名前と所属と職種をお知らせ下さい。メールを受信後、詳しいアクセ  
ス法をお知らせいたします。

研究会に関するお問合せ先：東京大学小児・新生児集中治療部 新生児生命倫理研究会  
事務局 高橋尚人

URL：[nicu.umin.jp](http://nicu.umin.jp)、TEL：03-5800-8659、E-mail：[nicu-office@umin.org](mailto:nicu-office@umin.org)

ご不明の点等ございましたら、ご遠慮なく上記のメールアドレスにお知らせください。